

# 第55回茨城県障害者技能競技大会

## 【ビルクリーニング競技課題】

### ◎一般的な注意事項

1. 課題には、時間が定められています。  
所要時間：10分以内
2. 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
3. 競技採点は、作業準備、作業動作（手順）、挨拶、後始末、全体評価、作業時間の6面から審査し、加点方式によって行われます。
4. 作業に適した服装をしてください。
5. 作業開始の指示は審査員が行います。「始めます」、「終わりました」の申告は、競技者自身で行ってください。
6. 所要時間が過ぎても作業は完成させることにします。

### ◎課題：弾性床清掃

1. 作業面積は16㎡（4m×4m）とし、アルミ枠により区画されたものとしします。
2. 床材質は塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
3. 床面の掃き・拭き作業です。
4. 作業に使用する色々な資機材・消耗品は、過不足無く準備されているか点検してください。
5. モップの柄は長さが調節できるので、作業前に自分で操作しやすい長さに調節してください。
6. 乾式モップ用ダストクロスは競技者が作業前に取り付けて点検してください。
7. 床のゴミは「おがくず」とし50ml程度をまいたものとしします。
8. アルミ枠により区画された上には壁があるものとして作業を行ってください。
9. 作業場所にある机は移動させないでください。
10. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

課題：弾性床清掃及び机上清掃（作業時間：10分）

作業仕様

作業手順	作業方法	着眼点	備考
資機材を準備する	<p>作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 （必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと。）</p> <p>① モップ柄の長さを調整し、カートの所定の場所にセットする。 ② ダストクロスを乾式モップヘッド（以下ヘッド）に装着し、カート上部に置く。</p>	<p>資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。</p>	<p>資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。</p>
競技開始の挨拶	<p>所定の位置に立ち、競技委員の始めの合図で、「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。</p>	<p>片手を挙げ、一礼する。</p>	<p>作業開始を申告する。</p>
作業準備	<p>カートを保管場所から作業場所の近くへ移動（1台分）し、作業表示板を立てる。</p>	<p>作業表示板は、作業の邪魔にならず通行人からよく見える場所に立てる。</p>	<p>幅木枠のコーナー部分に当たらない程度に間隔を空けて立てる。</p>
入室の挨拶	<p>入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。</p>	<p>「失礼します」と一礼して入室する。</p>	
<p>イス上げとゴミ処理</p> <p>(1) イスを上げる (2) ゴミの回収 (3) ゴミ袋のセット</p>	<p>① 作業前にイスを机上に上げる。 ② ゴミ箱にセットされているビニール袋を回収する。 ③ 回収したビニール袋をカートの袋の中に入れる。 ④ ビニール袋の替袋を取り出し、ゴミ箱にセットする。 ⑤ ゴミ箱を机上に上げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机は動かさない。</li> <li>・イスは机からはみ出さないように正しくのせる。</li> <li>・ビニール袋を正しくセットする。</li> <li>・ゴミ箱は机からはみ出さないように正しくのせる。</li> </ul>	

<p>除塵作業 (乾式モップ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ダスタークロスを装着したヘッドはコート入口の養生マットの上でモップの柄にセットする。</li> <li>② 乾式モップで、外から入口を除塵し、入室する。</li> <li>③ 室内での作業手順は、乾式モップ作業手順(別紙2)のとおり行う。</li> <li>④ ゴミは前進しながら出口に向かって1箇所を集める。</li> <li>⑤ ヘッドを柄から外す。</li> <li>⑥ 使用済みのダスタークロスはヘッドから外し、カートの袋の中に収納する。</li> <li>⑦ 柄とヘッドをカートに戻す。</li> <li>⑧ 小型ぼうきと文化ちりとりを使用し、集めたゴミを回収する。</li> <li>⑨ ゴミの取り残しがないか点検する。</li> <li>⑩ 小型ぼうき、文化ちりとりをカートの元の位置に戻す。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柄の先端には親指を添えて、押さえるはもう一方の手で順手で持つ。</li> <li>・ ヘッドは辺の広い方を先行させる。</li> <li>・ 入口のゴミを踏まないように足場を確保する。</li> <li>・ ヘッドは床から離さない、叩かない、戻らない、ぶつけない。</li> <li>・ ヘッドは、左右の位置で正確に半回転させ、横一直線で前進移動する。</li> <li>・ 机の下の除塵も確実に行う。</li> <li>・ モップは、押し幅が1/4程度重なるように。</li> <li>・ ごみの上を歩かない。</li> <li>・ ヘッドは、カート上部に、スポンジ面を上にして、邪魔にならないように置く。</li> <li>・ ゴミの取り残しがある場合は、小型ぼうきと文化ちりとりを使用し回収する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミはおがくずを50ml程度均等にまいてある。</li> <li>・ 入り口も幅木・コーナーも前進しながら作業する。</li> <li>・ 乾式モップの持ち手は、作業途中で持ち替えない。</li> <li>・ 点検の際に声を出さないこと</li> </ul>
-------------------------	---	---	--

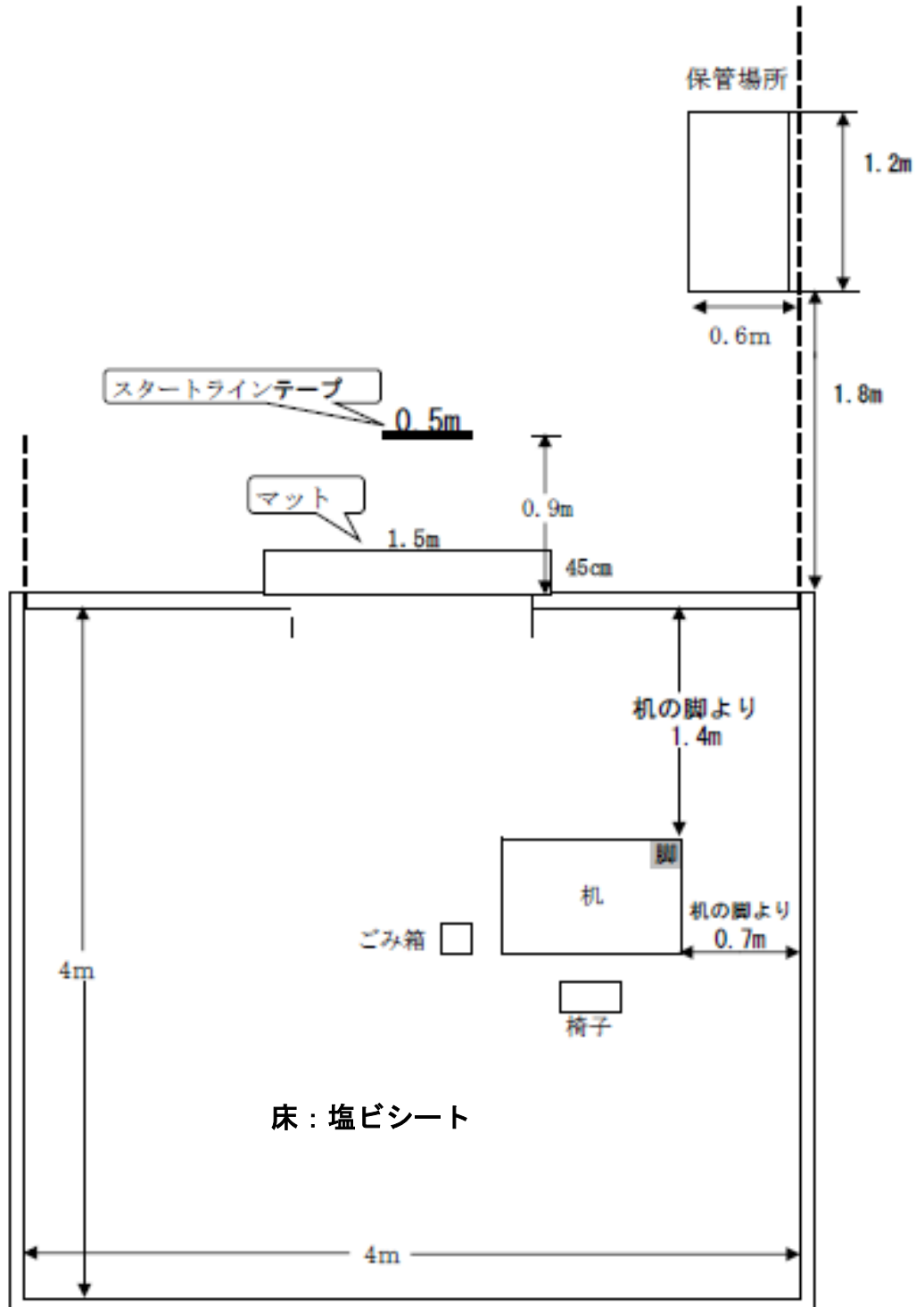
課題：弾性床清掃及び机上清掃（作業時間：10分）

作業仕様

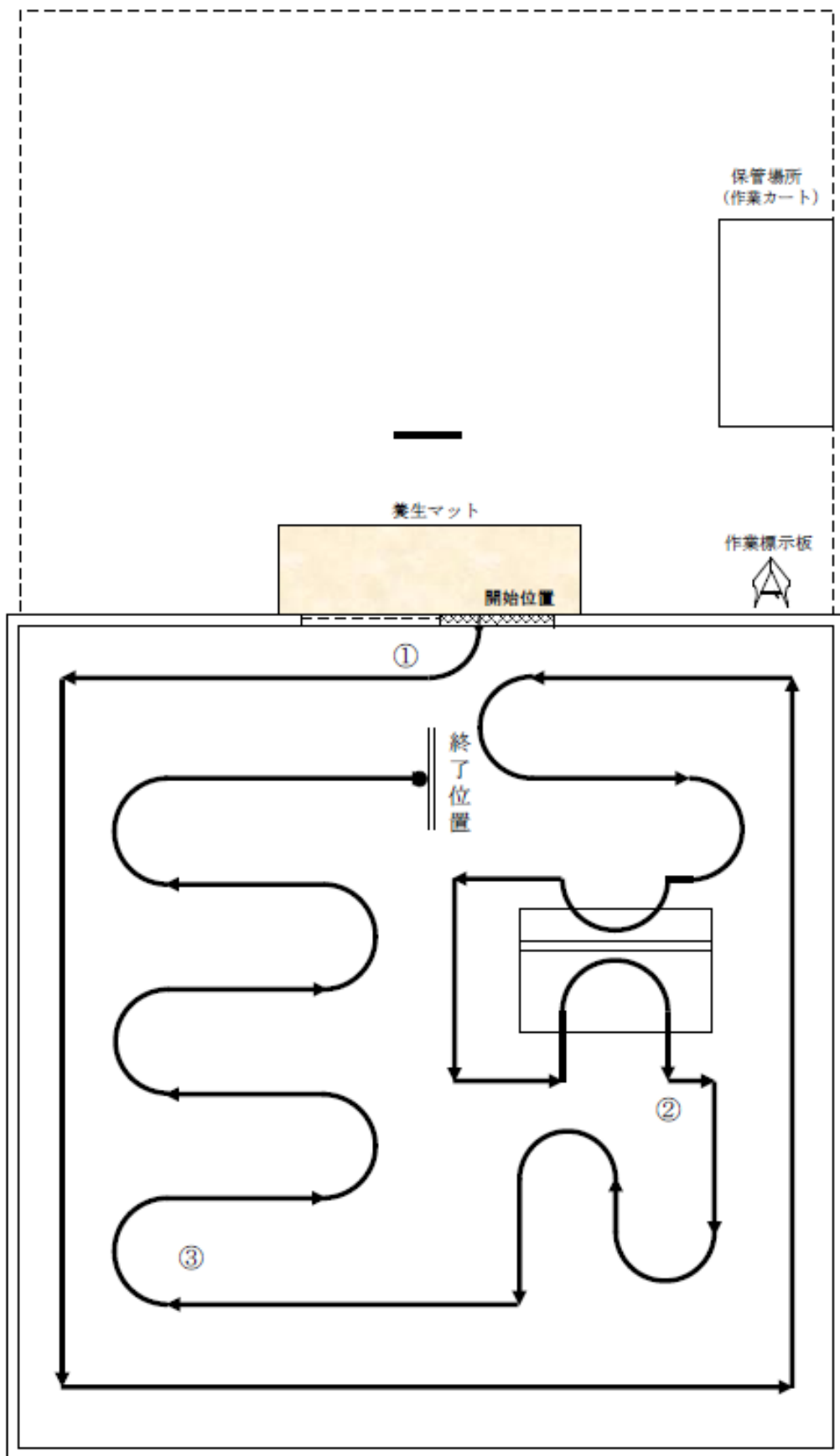
作業手順	作業方法	着眼点	備考
水拭き作業 (モップ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 水拭きモップは、コート（作業場所）入口の養生マットの上でセットする。</li> <li>② 室内での作業手順は、水拭きモップ作業手順（別紙3）のとおり行う。</li> <li>③ モップで全面積を拭く。</li> <li>④ コーナー・机の足元廻り・出入口はラグに手を添えて拭く。</li> <li>⑤ モップは適時裏返し、モップ全体を使って拭く。</li> <li>⑥ モップは横拭きとし、後退しながら拭く。</li> <li>⑦ 拭き終わったら養生マットの上でモップを外し、柄とともにカートへ納める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柄の先端には親指を添えて、押さえはもう一方の手で順手で持つ。</li> <li>・ 幅木側は押し作業で行い、拭いたところは踏まない</li> <li>・ 机の下部を残さないように。</li> <li>・ 幅木・机の脚部に触れないように。</li> <li>・ モップは1区画ごとに1～2回裏返す。</li> <li>・ 拭き幅の中央付近に立ち横一直線に拭く。</li> <li>・ 拭き残し、拭きムラのないように。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 流し拭きにならないようにする。</li> <li>・ ごく自然な姿勢でリズムカルに操作する。</li> </ul>
ゴミ箱とイス下ろし	安全に音を立てないように下ろす。	・ 足の上に落とさないように注意する。	
机上拭き	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 青色タオルを八折りにして持つ。</li> <li>② 机の上を青色のタオルで水拭きした後に、白色のタオルで乾拭きを行う。</li> <li>③ 机上拭きの作業手順は、机上拭き作業手順（別紙4）のとおり行う。</li> <li>④ 青色タオル、白色タオルをカート上部の元の位置に戻す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 机の縁を含めて、四隅から中央へと拭きあげる。</li> <li>・ タオルが汚れたら、きれいな面に変えて拭く。</li> <li>・ 横拭き・縦拭きを行う。</li> </ul>	
点検	指差し又は目視点検を行う。	・ 資機材の戻し忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	・ 点検の際に声を出さないこと。
退室の挨拶	出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	・ 「失礼しました」と一礼して退出する。	

作業手順	作業方法	着眼点	備考
資機材の片付け	作業標示板をカートへ納め、カートを保管場所に戻す。	・元の位置に戻す。	
終了の挨拶	所定の位置に立ち終了挨拶を行う。	「終わりました」、 「終了しました」等の 意思表示を行う。	作業終了を申告する。

標準配置図（別紙1）

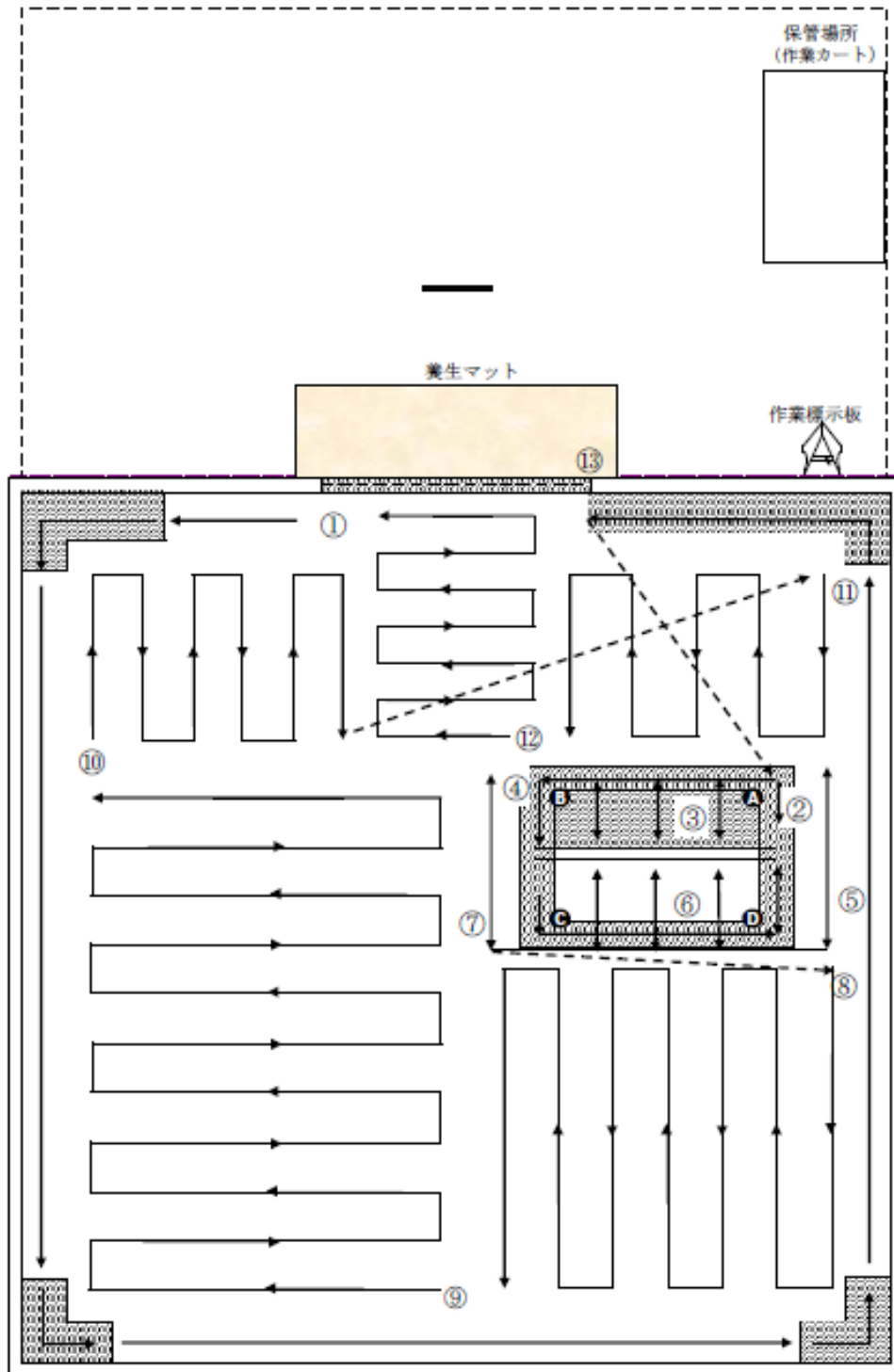


乾式モップ作業手順 別紙(2)



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

水拭きモップ作業手順 別紙（3）

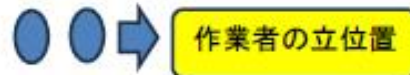
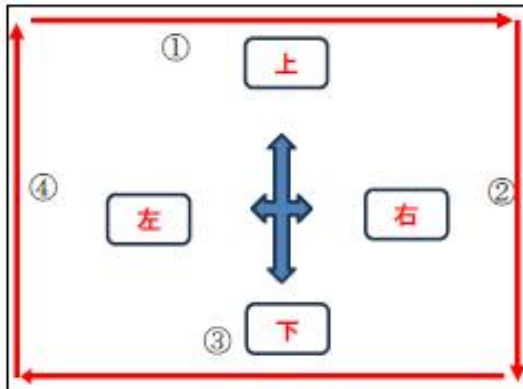


注：▨印は手を添える箇所を示す。水拭き回数を入れたものではありません。

- ①幅木側を1周すること。（コーナーは手を添えます）
- ②Aの脚周りを手を添えて拭く
- ③机の下を手を添えて拭く
- ④B脚、C脚、D脚の順に脚回りを手を添えて拭く
- ⑤机の脇（壁側）を拭く
- ⑥机の下を手を添えずに拭く
- ⑦机の脇（入口側）を拭く
- ⑧～⑫拭きムラがないよう適切な間隔で拭く
- ⑬入口は手を添えて拭く

机上拭き

その1. 縁(机の4辺)の作業動線



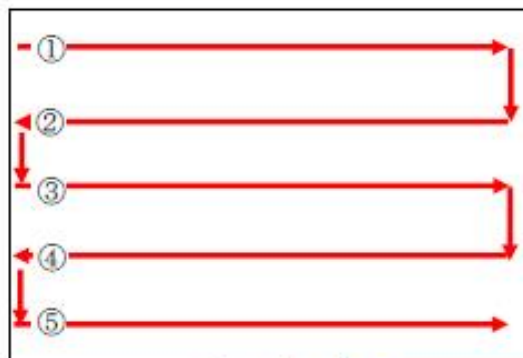
その2. 縁(机の4辺)の拭き方

※. 選手は審査員に正対し動線図に示された場所に立つ(縦拭き・横拭きも同様)

A. 机「上端」の縁を左端から①→②→③→④の順で机の「縁」を拭く。

※. 左手で拭く場合は、机「上端」右側からスタートしても構わない。

その2. 机中央の作業動線(横拭き)

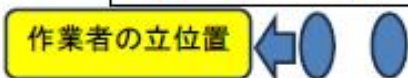
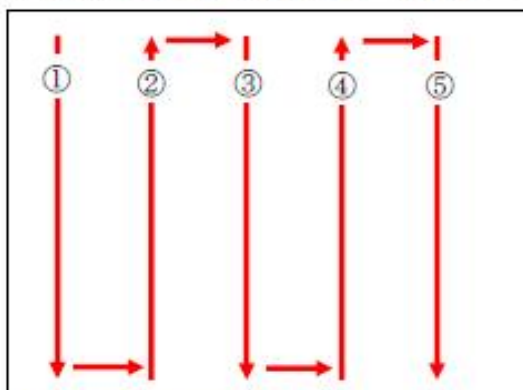


①～⑤の様に机「中央」を左側から拭き残しやムラの無いように拭く。(拭く回数は指定しない)

※. 左手で拭く場合は、机右側からスタートしても構わない。

※. 適宜タオルの面を変えながら拭く。

その3. 机中央の作業動線(縦拭き)



①～⑤の様に机「中央」を上端から手前へ縦拭きによる拭き方で拭き残しやムラの無いように拭く。(拭く回数は指定しない)

※左手でタオルを持って作業する場合の動線は、右手による拭き方の「逆(⑤～①)」になっても問題ない。

(1) 競技場に準備されているもの

課題用

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台	
作業表示板		1枚	
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1本	
モップ(房糸)	260g 白色	1枚	
小型ほうき	30cm幅用	1本	
乾式モップヘッド	幅63cm	1枚	
文化ちり取り	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1個	
タオル	無地 水拭き用(青色) 1枚 無地 乾拭き用(白色) 1枚	2枚	
ダストクロス	69cm幅の不織布	1枚	
ビニール袋	ゴミ袋として使用する。	1枚	
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台	
イス	パイプ式折りたたみ	1脚	
ゴミ箱	角型	1個	

(2) 競技者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業着(上・下)		1着	
作業帽又は三角巾		1個	
作業靴		1足	

(注意) 持参するものは、上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することは差し支えない。